

連携自治体紹介シート

自治体名	福島県喜多方市
自治体の概要	<p>喜多方市は福島県の北西部、会津盆地の北に位置し、東に裾野を広げる雄国山、北西にそびえる飯豊連峰、南部を横断する阿賀川に囲まれ、肥沃な土壌と豊かな水、広大な山林の恵に満ちた自然豊かなまちです。</p> <p>喜多方市は、これら自然、歴史、文化、食など特色のある豊富な地域資源を観光資源として活用することで、年間180万人を超える観光客の方が訪れる、観光のまちでもあります。</p> <p>人口は約46,000人、世帯数は約17,000世帯となっています。面積は約555k平方メートルで、その約7割が山林で、東部、西部、北部地域を中心に、山林が広がっています。一方、市の中心部から南部にかけては、平坦な地形で、市街地を囲むように、田園地帯が広がっています。</p>
アクセス方法	<p>【自動車】 東京（東北自動車道：180分）郡山 Jct（磐越自動車道：40分）会津若松 IC（R121：20分）喜多方</p> <p>【電車】 東京（東北新幹線：85分）郡山（JR 磐越西線：85分）喜多方 浅草（東武線・野岩鉄道・会津線：255分）会津若松（JR 磐越西線：15分）喜多方</p>
主な特色 PRポイント	<p>近年、新しい働き方・生き方として「ワーケーション」が注目され、コロナ禍によるテレワークの促進を受けてより盛んに行われるようになりました。市においても、令和3年7月に喜多方ワーケーション推進協議会が設立され、令和3年度よりワーケーション目的の訪問者を受け入れる体制づくりを始めたところです。</p> <p>喜多方ワーケーション推進協議会では、それぞれの得意分野・強みを活かして温もりのある人の繋がりを育み、喜多方らしさをバージョンアップすることを【MISSION】とし、ほど良い暮らしをお裾分け。「” 私らしい” 生き方」と出逢える蔵と醸しのまち喜多方【VISION】として、リゾート地にはない、人が住まう蔵でのワークや農業体験など、素朴な体験をしながらのワーケーションに取り組んでいます。</p>
主な地域課題	<ul style="list-style-type: none"> 喜多方市は、喜多方ラーメンやそばなど「食」を目的に多くの観光客が訪れる一方で、滞在時間が短く、観光消費額単価が低いことが課題となっています。このため、宿泊につながる「日本酒を活用したイベント」や「宿泊施設の高付加価値化」などに取り組んでいるところです。 人口減少や高齢化の影響は、本市観光を支える「観光人材」にも大きな影響を与えており、ラーメン店の高齢化等による閉店やメイン通りのシャッター化などが相次いでおり、都市部からの若者の移住や企業等の参入（サテライトオフィス開設）などに取り組んでいます。